

報 道 資 料

発表日：令和元年7月8日（月）
所 属：総務部知事公室防災統括室
防災企画係：北畑、植田
電 話：0742-27-8425（ダイヤルイン）
内 線：2271、2272

避難所用間仕切りシステムの 供給等に関する協定締結について

1 協定の目的

- ・奈良県では、大規模災害が発生した際、避難所生活の長期化に伴う避難者のプライバシー保護や心的ストレスの緩和を目途とし、迅速に間仕切りシステム等の供給が受けられるよう、標記協定を締結します。

2 協定書取り交わし式

- ・日時 令和元年7月16日（火）14時～
- ・場所 奈良県庁本庁舎東棟2階 危機管理監室（奈良市登大路町30番地）

3 協定締結先

- ・NPO法人ボランティア・アーキテクト・ネットワーク
- ・代表理事 坂 茂（ばん しげる）

4 協定の内容

- ・大規模災害が発生した場合、長期間に及ぶ避難所生活の環境を改善するため、避難所用間仕切りシステム等の供給が必要となる際は、NPO法人ボランティア・アーキテクト・ネットワークに対して供給を要請する。
- ・NPO法人ボランティア・アーキテクト・ネットワークは、供給の要請を受けたときは、支障が生じない範囲において可能な限り支援する。

5 間仕切りシステムについて

- ・坂 茂氏が考案した「避難所用・紙の簡易間仕切りシステム」は、紙管と布を材料として容易に組み立てることが可能であるだけでなく、開閉可能な間仕切りを採用することで様々なパターンの区画を作ることができ、布を使用することにより通気性も確保できるもので、東日本大震災や熊本地震、平成30年7月豪雨災害のほか、海外の被災地などでも、数多く採用されている。

6 紙の簡易間仕切りシステムの概要



- ・ 1区画最大2m×2m
- ・ 紙管の柱を移動させることで2m以外のサイズにも自由に変更可能
- ・ 使用後は資源ごみとして廃棄可能。
(廃棄せず保管しておくことも可能)

北海道胆振東部地震 2018

5 NPOボランティア・アーキテクト・ネットワークの活動について

- ・ 坂 茂氏が代表理事を務めており、国内外の大規模災害発生時において被災者への住環境に対する支援事業を行うほか、防災訓練を通じた防災・減災意識の啓発に関する事業を行い、震災被害からの円滑な復旧・復興、及び災害時に発生し得る被害の最小化に寄与することを目的として活動している。

NPO設立認証年月日：2013年3月21日

所在地：東京都世田谷区松原5-2-4